

1 第2期アクションプラン（県南圏域地域振興プラン）の概要

(1) 基本的考え方

令和7年度は「いわて県民計画（2019～2028）」第2期アクションプラン（令和5年度～令和8年度）の3年目となる。

アクションプランのうち、地域振興プランは、各広域振興圏において重点的・優先的に取り組む施策やその具体的な推進方針を示しており、プランの推進に当たっては、政策推進プランに掲げる10の政策分野や、復興推進プランの施策等と連携を図りながら、圏域の振興に取り組んでいる。

第2期地域振興プランにおいては、第2期政策推進プランに人口減少対策として掲げた4つの重点事項に関連した具体的な施策を盛り込み、展開を図っている。

県南広域振興局においても、重点事項を踏まえつつ、関係市町や地域協働懇談会等の地域の意見を反映させながら、目指す将来像に向かって取組を進めているところ。

(2) 振興施策の基本方向及び重点事項

将来像

人とのつながり、県南圏域の産業集積や農林業、多様な地域資源を生かしながら、暮らしと産業が調和し、世界に向け岩手の未来を切り拓く地域

基本方向

- I 多様な交流が生まれ、一人ひとりが生涯を通じて健やかにいきいきと暮らせる地域
- II 世界に誇れる産業の集積を進め、岩手で育った人材が地元で働き定着する地域
- III 世界遺産「平泉の文化遺産」をはじめ多彩な魅力の発信により多くの人々が訪れる地域
- IV 米・園芸・畜産や林業などの多様な経営体が収益性の高い農林業を実践する地域

重点事項

自然減・社会減対策

性別にかかわらず誰もが活躍できる環境づくりを進めながら、結婚・子育てなどライフステージに応じた支援や移住・定住施策を強化します。

GX

G X（グリーン・トランスフォーメーション）を推進し、カーボンニュートラルと持続可能な新しい成長を目指します。

DX

D X（デジタル・トランスフォーメーション）を推進し、デジタル社会における県民の暮らしの向上と産業振興を図ります。

安全・安心

災害や新興感染症など様々なリスクに対応できる安全・安心な地域づくりを推進します。

2 令和7年度の重点的取組（案）の概要

現状

- 市町の範囲を超える広域的な生活圏が形成
- 製造業を中心に多くの誘致企業が立地し、転勤者が居住
- 県外からの移住者・転勤者等に対するサポートが不足
- 仙台圏の関係人口との継続的なつながりが不足
- 未婚化、晩婚化の進行、岩手での結婚・子育てへの希望
- ものづくり産業が県全体をけん引、園芸の経営規模が拡大
- 生産性向上に向けたDX推進の取組が限定的

課題

- 管内市町と連携した広域的な移住者受入態勢の整備
- 移住者や転勤者が関わるコミュニティ不足の解消、フォローアップ体制の構築
- 仙台圏と県南地域とのつながり強化と関係性の継続
- 新たな出会いの場の創出、結婚支援ニーズの掘り起こし
- 収益性の高い地域産業の実現
- ものづくり産業全体のDX推進、スマート農業の普及

※(広): 広域振興事業

人口減少対策

社会減

流入促進

移住者

転勤による転入者

移住関心層

仙台圏

- 移住者・転勤者等を対象とした交流会 (広)
- 新規就農者の相互研鑽のための研修会等
- 誘致企業と連携したワーケーション実証成果の横展開 (広)
- 仙台圏の大学生を対象とした地域課題解決型ワークショップやSlackを活用した交流 (広)
- 仙台圏でのU・Iターンセミナー
- 移住者の仕事・住環境等体験ツアー【一部新規】 (広)
- Webマーケティングによる就農希望者への情報発信

流出抑制・回帰促進

児童・生徒

就業者・企業

- 高校生等への職業意識・地元志向醸成セミナー、企業情報ガイダンス
- 「いわて県南広域企業ガイド」やインスタグラムによる情報発信 (広)
- 小中学生を対象としたものづくり企業の工場見学・出前授業
- 小中学生を対象とした建設業の体験学習
- 若い林業従事者等の技術指導及び研修会
- 企業と学校の交流支援、人材確保促進のための勉強会

自然減

- 「推し（趣味、興味、関心）」や「地域資源」を活用した新たな出会い創出イベント【新規】

- 県南広域圏結婚支援関係団体等連絡会議を開催し、市町や関係団体等と引き続き連携

- いわて若者カフェを活用した若者・女性の交流の場の創出（若者女性協働推進室と連携）

DX推進

- 実践的DX導入支援、DX推進人材の育成支援、DX導入意識啓発支援によるものづくり産業のDX推進【組替新規】 (広)

- 環境モニタリング機器を活用したデータ駆動型農業の普及・定着、人材育成による農業のDX推進【組替新規】 (広)

人口減少（社会減）対策

○これまでの成果

- ・県外在住の移住関心層に向けて、**セミナー**を開催し情報を発信
- ・ワークショップ等を通じて、仙台圏の若年層との関係人口が拡大

○課題

- ・県南圏域の情報の提供だけでなく、体験できる**実践的な取組**が必要
- ・仙台圏との関係人口について、**つながりの維持・強化**が必要

県南地域への移住定住・定着支援

関係人口・つながり強化

県南地域への移住定住・定着支援【一部新規】

【概要】働きやすく、暮らしやすい地域を目指し、管内市町と連携した移住・U・Iターン促進、定住促進に取り組む。

（１）移住・U・Iターン促進に向けた取組

- ①広域的な生活圏を体感し移住を後押しする**移住体験ツアー**【新規】
- ②仙台圏在住者を対象とした**U・Iターンセミナー**【見直し】
- ③移住者等の受入体制を構築するための**交流会**

移住体験ツアー



首都圏
在住者

U・Iターンセミナー



移住へ



（２）定住促進に向けた取組

- ①高校生等対象の職業意識・地元志向醸成セミナー
- ②高校生**企業情報ガイダンス**
- ③「いわて県南広域企業ガイド」の発信

（３）連携体制の構築・運営

- ①南いわて社会減対策戦略会議
- ②移住定住推進分科会

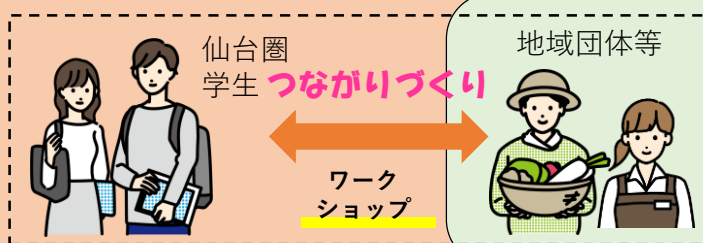
定 移住・
住 U・
促 I・
進 ター
進 ン
進 促
進 進

関係人口・つながり強化【継続】

【概要】関係人口の創出のため、仙台圏大学生等を対象としたワークショップ等や誘致企業と連携してワーケーションに取り組む。

（１）地域課題に対応した関係人口の拡大

- ①仙台圏の大学生等を対象とした**ワークショップ**及び**交流会**
- ②オンライン情報交換スペース「Slack」を活用した交流



（２）誘致企業と連携した関係・交流人口の拡大

- ①誘致企業と連携した**ワーケーション実証成果**の横展開
- ②ワーケーション実証企業への**フォローアップ**



つ 関
な 係
が 人
り 口
の 創
強 出
化

D X の推進

○これまでの成果

- ・ものづくり企業に対して、IoTツールなどを活用し、ニーズに応じた支援を実施
- ・国が指定する「データ駆動型農業による産地づくり」のモデル地域に選出

○課題

- ・DX導入に踏み出せないものづくり企業も多く、初期段階も含めた導入支援が必要
- ・先進地域として、データ駆動型農業の更なる普及推進が必要

北上川流域産業DX推進 (ものづくり産業・農業)

北上川流域産業DX推進【組替新規】

【概要】県南圏域における産業のDXをより一層推進するため、ものづくり企業に対するDX導入の初期段階も含めた支援や人材育成、意識啓発を図るとともに、データ駆動型農業の普及推進、データ活用を行う産地の拡大等に取り組む。

(1)ものづくり産業のDX推進

- ①企業の課題解決にむけた実践的DX導入の支援
- ②連携カリキュラム等によるDX推進人材育成【一部新規】
- ③経営層に対するDX導入の意識啓発【一部新規】

① D X 導 入

- ・導入伴走支援
- ・IT企業連携
- ・アドバイザー訪問

② 人 材 育 成

- ・集合型研修
- ・セミナー研修
- ・管内教育機関と連携のモデルカリキュラム

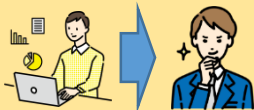
③ 意 識 啓 発

- ・経営層向けセミナー
- ・先進事例視察

専門家 訪問支援



連携カリキュラム



DXセミナー



(2) 農業のDX推進

- ①環境モニタリング機器と連携したデータ収集・分析
- ②分析データの効果的な活用のための研修会【一部新規】
- ③農業DX活用人材育成に向けた研修会【一部新規】

① データ収集分析

- ・ピーマン産地での環境等のデータ収集と分析



現地研修会

② データ活用

- ・環境データと植物体の生理に関する座学研修会と現地研修会
(ピーマンとトマト産地)

③ 人 材 育 成

- ・農業DX活用人材育成に向けた視察研修とスマート農業技術活用事例の紹介

流域の生産性向上



- ・人材不足
- ・運営コストetc.

管内産業

DX導入支援・啓発
データ活用支援

DXを
さらに推進



課題解決
競争力強化